



【策定の趣旨】

ニュータウン問題の顕在化が課題となっている金剛地区において、老朽化した既存施設が抱える課題への対応、若者・子育て世代の定住促進等に向けた機能導入を早期に実現する観点から、シンボル施設として優先的に再整備を進める金剛中央公園の詳細機能、規模等を整理することを目的に策定。

【基本方針】

こどもたちの笑顔があふれ、みんなで豊かさを育むサードプレイス

こどもの成長と子育てをささえる場

みんなで豊かさを育む場

将来を担うすべてのこどもを中心に位置付け、こども・子育て支援の場として金剛中央公園・多機能複合施設を整備し、こどもたちの笑顔があふれる将来をめざします

地区住民のサードプレイスとして金剛中央公園・多機能複合施設を整備し、みんなで豊かさを育む将来をめざします

【詳細機能】

子育て支援機能
 想定整備面積：1,250㎡

すべてのこどもの育ちと子育てを支援するため、「(仮称)こども・子育てプラザ」を整備します。

<詳細機能>

児童館機能を導入し、こどもの健全な育ち・自立を促進するとともに、誰でも利用できる居場所を創出します。屋内児童遊戯機能を導入し、雨天時でも利用できる「遊び」「学び」の場を提供するとともに、相談支援や発達相談等も実施します。屋外空間には、遊具エリアを整備し、こどもたちが体を動かして遊べるインクルーシブな空間を創出します。

<整備イメージ>



健康増進機能
 想定整備面積：800㎡

誰もが健康で安心して暮らすことができよう、一人ひとりの健康の維持・増進を図る機能を導入します。

<詳細機能>

健康増進に向けて、複合施設内に屋内運動施設を整備し、主にスポーツ利用を通じた健康増進につなげるとともに、健康維持につながる運動ができる施設を整備します。屋外空間には、周遊路等を整備し、ウォーキングやランニング等、日常的な健康づくり活動での利用につなげます。

<整備イメージ>



交流機能
 想定整備面積：550㎡

まちづくり活動や文化・創造活動等、住民の多様な活動ニーズに対応し、多世代の交流を実現する交流拠点を整備します。

<詳細機能>

貸館機能のほか、コワーキングやイベント、休憩など、多様な使いこなしを可能とするオープンスペースを備えるとともに、休憩できるカフェ等の便益機能の整備も検討します。屋外空間には、家族連れや個人が豊かな時間を過ごすことのできる芝生広場を整備するとともに、イベントや活動に利用できる多目的広場を整備します。

<整備イメージ>



【ゾーニング(推奨案)】



概算事業費(想定試算)		想定される事業手法	
整備費	約25億円	DBO手法	設計・施工・管理・運営を同一事業者に一括して性能発注する手法
管理費	約1.3億円/年	Park-PFI手法	都市公園法に基づき、収益を公園整備費に一部充当することで、建ぺい率の緩和等の措置が受けられる手法

【想定スケジュール】

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
導入可能性調査	→					
事業者選定		→				
基本設計・実施設計			→			
整備工事				→		
供用						→

【施設整備時に重視する視点】

地区のシンボルとなる空間整備

安全・安心に利用できるアクセス性の確保

地形を生かした空間整備

自然との共生

フレキシビリティの確保

カーボンニュートラルの実現